

平成 29 年 2 月 20 日
野々市市教育文化部中央地区整備事業対策室

文化交流拠点施設愛称及び正式名称の決定について

施設名称及び愛称が「学びの杜ののいち カレード」に決定

平成 29 年 11 月に開館を予定しています「新市立図書館」「市民学習センター」「憩いのひろば」から構成される文化交流拠点施設の愛称について、石川県内の皆様から募集をしました。

併せて、野々市中央地区整備事業の施設整備・運営・維持管理の事業を実施する P F I 事業の受託事業者からも愛称を募集しました。

応募作品は、199 点に及び、その中から施設イメージを表現したわかりやすく、親しみやすい愛称を選考しました。

愛称（最優秀賞）

作品	カレード (Kaleido)
応募者	野々市中央まちづくり株式会社
コンセプト・説明	【コンセプト】 本と出会い、人と出会い、市民が光り輝き、まちが美しくにぎわう 【説明】 語源は、「kaleidoscope」(万華鏡)の冒頭の「kaleido」(ギリシャ語の「kalós」(美しい) + 「eidos」(形))。 野々市市の図書館は万華鏡のようにいつもその様相を変える。しかも、いつも美しい。 その様相を創り出すのは、多彩な内容をもったたくさんの本であり、それぞれに個性をもつ市民である。 本と人、人と人が交わり合って、市民が光り輝き、野々市市が美しくにぎわう。

「カレード」という愛称は、本来の意味の「美しい形」の造語として普及した言葉であって、未来への豊かな変化・成長・可能性を秘めており、この施設において、市民が万華鏡のように生き生きと多様な輝きを放つ様子が表現されていることが愛称選考委員会において評価されました。

優秀賞（3点・4名）

作品／応募者	ポラリス	宮崎幹子さん（野々市市在住）
作品／応募者	polaris（ポラリス）	中野有珠さん（白山市在住）
作品／応募者	ピュア・カメラリア	餅井恵子さん（白山市在住）
作品／応募者	モア（more）	小柳久代さん（野々市市在住）

愛称の決定と併せて、これまで「文化交流拠点施設」と仮称として定めていた新たな複合施設としての名称については、愛称選考委員会からの意見も伺いまして、「**学びの杜ののいち**」とします。

施設の基本理念である「市民の学びと文化・芸術・創造、情報発信、市民協働におけるシンボル」のコンセプトを取り入れ、新施設での活動の内容をシンプルに表現したものです。

施設名称及び愛称については、「**学びの杜ののいち カレード**」とします。